

定時株主総会議案書

令和 7 年度(2025 年度)

令和 7 年 5 月 29 日(木) 於 ORIENTAL HOTEL

株式会社 H A T A

令和7年度 株式会社HATA

定時株主総会 次第

1. 開会の辞

2. 代表取締役挨拶

3. 議長選出

4. 総会成立宣言

5. 報告事項

(ア) 第24期(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)事業報告の件

(イ) 第24期決算(貸借対照表、損益計算書および株主資本等変動計算書)報告の件

(ウ) 監査報告

6. 決議事項

第1号議案	第24期計算書類承認の件
第2号議案	取締役及び監査役選任の件
第3号議案	自己株式取得の件
第4号議案	自己株式売却の件
第5号議案	その他の件

7. 閉会の辞

第 24期 事業報告

自 令和 6 年 4 月 1 日 至 令和 7 年 3 月 31 日

I. 営業の概況

今期の広告事業につきましては、引き続き紙媒体広告の需要が減少傾向にあることから、全体的な売上は前年同期と比較して減少いたしました。特にデジタル媒体へのシフトが急速に進んでいる市場環境の変化に対応する必要性を改めて認識しております。

一方、物品販売部門においては、主に兵庫県産の玉ねぎおよび黒枝豆の販売に注力し、地元産品の魅力を発信する取組を継続してまいりました。その結果、販売数量および売上高は前年とほぼ同水準を維持することができました。

また、株式会社全旅からの配当金収入および委託業務による収益が増加し、経常収入の底上げに寄与いたしました。これにより、安定した財務基盤の構築に向けて一歩前進することができました。さらに、一般社団法人兵庫県旅行業協会からの増資を受けたことにより、当社の資本金が増加いたしました。これは当社の将来的な事業拡大および経営基盤の強化に資するものであり、今後の事業展開において大きな支えとなるものと考えております。

以上のように、広告事業においては依然として課題が残る一方で、物品販売や委託収入、資本強化といった面では一定の成果を上げることができました。引き続き、事業の多角化と経営の安定化を図りながら、地域社会への貢献と企業価値の向上に努めてまいります。

広告事業

配布月	配布回数	取扱数(社)	売上高(円)
4 月	1	14	75,000
8 月	1	13	82,000
10 月	1	9	51,500
1 月	1	8	49,000
合計	4	44	257,500

物品販売事業

物品名	売上高(円)	HATA 収益高(円)
淡路産新玉ねぎ	75,635	2,250
丹波産黒枝豆	30,110	5,580
おしぼり	12,320	1,760

Ⅱ. 庶務事項

1. 定時株主総会

当期に開催された定時株主総会は次の通りです。いずれの議案も承認可決されました。

令和 6 年 5 月 29 日(水) 於:ORIENTAL HOTEL

(イ) 報告事項

事業報告の件 (令和 5 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日まで)

決算報告の件 (令和 5 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日まで)

(ロ) 決議事項

第 1 号議案 第 23 期計算書類承認の件

第 2 号議案 自己株式取得の件

第 3 号議案 自己株式売却の件

第 4 号議案 その他の件

2. 取締役会

開催日	場所	議案
R6.04.12	中央区文化センター	令和 5 年度事業報告・収支決算報告について 令和 6 年度総会について その他
R6.05.29	ORIENTAL HOTEL	令和 6 年度総会について その他
R6.07.29	中央区文化センター	令和 7 年度総会について 今後のスケジュールについて その他
R6.10.15	中央区文化センター	半期決算報告 令和 7 年度総会について 研修旅行について その他
R6.12.10	中央区文化センター	令和 7 年度総会について 研修旅行について その他

3. 株式会社全旅関係会議

会議名	開催日	場所	備考
株 主 総 会	R6.06.25	大阪	小倉
近畿ブロック会議	R6.12.19	京都	小倉・井上

決 算 報 告 書

(第 24 期)

自 令和 6 年 4 月 1 日
至 令和 7 年 3 月 31 日

株式会社HATA

神戸市中央区下山手通 6-1-4
オフィス下山手 4 階

貸 借 対 照 表

令和7年3月31日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	円		円
【流 動 資 産】	【33,966,022】	【流 動 負 債】	【4,286,317】
現 金	979,082	未 払 金	3,830,299
普 通 預 金	28,984,163	未 払 法 人 税 等	156,800
商 品	32,125	未 払 消 費 税 等	227,400
未 収 入 金	3,911,552	預 り 金	50,698
未 還 付 法 人 税	59,100	仮 受 金	21,120
【固 定 資 産】	【15,290,000】		
(投 資 等)	(1,090,000)		
投 資 有 価 証 券	1,090,000	負債の部合計	4,286,317
差 入 保 証 金	14,200,000	純 資 産 の 部	
		【株 主 資 本】	【7,110,970】
		(資 本 金)	(37,050,000)
		資 本 金	37,050,000
		(利 益 剰 余 金)	(8,727,862)
		利 益 準 備 金	364,475
		繰 越 利 益 剰 余 金	8,305,230
		(自 己 株 式)	(△750,000)
		自 己 株 式	△750,000
		純 資 産 の 部 合 計	44,969,705
資 産 の 部 合 計	49,256,022	負債及び純資産の部合計	49,256,022

損 益 計 算 書

自 令和 6 年 4 月 1 日
至 令和 7 年 3 月 31 日

単位 円

【純 売 上 高】

受 取 手 数 料	234,107	
販 売 収 入	3,311,906	
そ の 他 収 入	12,050,525	15,596,538

【売 上 原 価】

期 首 棚 卸 高	29,583	
仕 入 高	3,277,983	
合 計	3,307,566	
期 末 棚 卸 高	32,125	3,275,441

売上総利益	12,321,097
-------	------------

【販売費及び一般管理費】

	10,292,553
営 業 利 益	2,028,544

【営 業 外 収 益】

受 取 利 息	23,033
受 取 配 当 金	306,000
雑 収 入	354,366

【営 業 外 費 用】

営 業 外 損 益	683,399
経 常 利 益	2,711,943
税引前当期利益	2,711,943
法人税住民税及び事業税	651,100
当 期 利 益	2,060,843

販売費及び一般管理費

自 令和 6 年 4 月 1 日

至 令和 7 年 3 月 31 日

単位 円

荷 造 運 賃	105,969
給 料 手 当	3,542,478
賞 与	810,000
法 定 福 利 費	605,523
福 利 厚 生 費	21,308
賃 借 料	267,264
修 繕 費	16,689
消 耗 品 費	103,438
水 道 光 熱 費	43,289
旅 費 交 通 費	252,856
手 数 料	43,034
租 税 公 課	446,612
交 際 接 待 費	74,641
保 険 料	15,000
通 信 費	176,530
諸 会 費	1,753,000
会 議 費	464,349
研 修 費	1,265,690
印 刷 費	53,964
リ ー ス 費	120,919
雑 費	110,000

合

計

10,292,553

株主資本変動計算書

自 令和 6 年 4 月 1 日 至 令和 7 年 3 月 31 日 単位 円

株主資本											純資産の部
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式	株主資本		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	利益剰余金					
						繰越利益剰余金	その他利益剰余金				
当期首残高	3,300,000				364,475	8,363,387	8,727,862	△ 825,000	11,202,862	11,202,862	
当期変動額										0	
新株の発行	27,750,000	6,000,000		6,000,000				33,750,000	33,750,000	33,750,000	
利益剰余金の配当						△ 2,119,000	△ 2,119,000	△ 2,119,000	△ 2,119,000	△ 2,119,000	
	6,000,000	△ 6,000,000		△ 6,000,000							
当期純損益金						2,060,843	2,060,843		2,060,843	2,060,843	
自己株式の取得								△ 75,000	△ 75,000	△ 75,000	
自己株式の処分								150,000	150,000	150,000	
当期変動額合計	33,750,000	0		0		△ 58,157	△ 58,157	75,000	33,766,843	33,766,843	
当期末残高	37,050,000	0		0		364,475	8,363,387	△ 750,000	44,969,705	44,969,705	

個 別 注 記 表

自 令和 6 年 4 月 1 日
至 令和 7 年 3 月 31 日

I. この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成しています。

II. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 資産の評価基準及び評価方法

① 有価証券の評価方法

投資有価証券・・・・・・移動平均法による原価法

② 棚卸資産の評価方法

最終仕入原価法

2. 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。

III. 株主資本等変動計算書に関する注記

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

発行済株式

普通株式（発行済株式）

前期末株式数（発行済普通株式） 220 株

当期増加株式数（発行済普通株式） 0 株

当期減少株式数（発行済普通株式） 0 株

当期末株式数（発行済普通株式） 220 株

摘要（発行済普通株式）

劣後株式（発行済株式）

前期末株式数（発行済劣後株式） 0 株

当期増加株式数（発行済劣後株式） 2,250 株

当期減少株式数（発行済劣後株式） 0 株

当期末株式数（発行済劣後株式） 2,250 株

摘要（発行済優先株式）

合計（発行済株式）

前期末株式数（発行済株式） 220 株

当期増加株式数（発行済株式） 2,250 株

当期減少株式数（発行済株式） 0 株

当期末株式数（発行済株式） 2,470 株

摘要（発行済株式）

2. 自己株式の種類及び株式数に関する事項

自己株式（種類及び株式数）

普通株式（自己株式）

前期末株式数（自己株式） 55 株

当期増加株式数（自己株式） 0 株

当期減少株式数（自己株式） 0 株

当期末株式数（自己株式） 50 株

上記の通りご報告申し上げます。

令和7年4月25日

株式会社HATA

代表取締役

小倉 譲

取締役

不破 崇裕

取締役

山木 可織

監査の結果、いずれも適法かつ正確であることを認めます。

令和7年4月25日

監査役

堀 祐希

【決議事項】

第 1 号議案 第 24 期計算書類承認の件

第 2 号議案 取締役及び監査役選任の件

取締役全員（3 名）と監査役は、本総会終結の時をもって任期満了となります。

つきましては、取締役の選任をお願いいたします。

取締役候補者

- ◎ 小倉 譲 （特定非営利活動法人しゃらく 代表理事）
- ◎ 不破 崇裕 （株式会社セントラルツアーズ 代表取締役）
- ◎ 山木 可織 （合同会社七夕 代表社員）

監査役候補

- ◎ 堀 祐希 （株式会社山旅人 代表取締役）

50 音順 敬称略

第 3 号議案 自己株式取得の件

当社は一般社団法人兵庫県旅行業協会の会員が株主であり、その株主の変化に対応し機動的な経営を遂行できるようにするため、会社法第 156 条第 1 項の規定に基づき、本定時総会の終結の日から 1 年以内に、当社普通株式 40 株、取得金額（1 株当たり 15,000 円）の総額 600,000 円を限度として、退会する株主より金銭をもって取得したい。

第 4 号議案 自己株式売却の件

一般社団法人兵庫県旅行業協会への入会会員は当社の株主となるため、会社法第 199 条第 1 項の規定に基づき、本定時総会の終結の日から 1 年以内に、当社普通株式 40 株、1 株 15,000 円とし総額 600,000 円を限度として、入会会員に売却することとしたい。

第 5 号議案 その他の件

第 25 期事業計画(案)

自 令和 7 年(2025 年)4 月 1 日 至 令和 8 年(2026 年)3 月 31 日

昨年度、当社は念願の第一種旅行業を取得することができました。このことは、私たちにとって大きな節目であり、業界内での信頼性や認知度を高める重要な一歩となりました。これを機に、今後さらに多くの会員の皆様により良いサービスを提供するため、これまで以上に精進してまいります。

また、今年度は新たに派遣業の登録をし、会員間での人的資源の相互活用を促進するプラットフォームを提供することを目指しております。主に添乗員や観光ガイド、事務スタッフなど、旅行業務に携わるさまざまな人材を派遣することを中心に、会員同士が迅速に必要な人材を提供し合える仕組みを整えます。このシステムを通じて、業務の効率化を図るとともに、コスト削減を実現し、会員同士の連携をより一層強化できると確信しています。

特に、大阪・関西万博の開催が近づいている中、私たちはその重要な時期に向けて準備を整えています。万博の開催に伴い、多くの観光客やビジネスチャンスが生まれることでしょう。そのような大きな機会を最大限に活かし、株主の皆様と共に喜びを分かち合い、笑顔で過ごせるよう、役員一丸となって尽力してまいります。万博の成功を支えるため、当社のサービスを一層向上させ、万博後のさらなる成長に繋がるよう全力で取り組む所存です。

さらに、今年度も（一社）兵庫県旅行業協会およびくすのき会と連携を取りながら、会員の皆様のお役に立てるよう尽力してまいります。これからも、会員の皆様にとって有益な情報提供やサービスを行い、業界全体の発展に貢献していくことを目指します。私たちが提供するサービスを通じて、会員の皆様がより多くの成果を上げられるよう、誠心誠意サポートしていきます。

今後とも、会員の皆様からのご協力や貴重なご提案をいただきながら、より良いサービス提供を目指して努力してまいります。皆様と共に成長し、成功を収められるよう、私たちは一丸となって取り組んでまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。